



「日本骨髄バンク」LINE公式アカウントを開設 ～「リテンション」「若年層ドナー獲得」に向けてLINE社と協定締結～

公益財団法人日本骨髄バンク
理事長 小寺 良尚

公益財団法人 日本骨髄バンク（東京都千代田区。以下、骨髄バンクという）は、既存ドナーのリテンションや新たなドナー獲得のため、LINE公式アカウント（以下、公式アカウントという）を2020年7月1日に開設しました。

なお、開設にあたり、LINE株式会社（東京都新宿区。以下、LINE社という）と骨髄バンク事業推進に関する協定を締結しました。

骨髄バンクに既に登録しているドナーへの「リテンション」（自身がドナー登録している事を認識してもらうことで提供意思を持続させる働きかけ）が重要課題（※1）で、既存ドナーへの情報発信ツールとして公式アカウントを積極的に活用していきます。

また、「若年層ドナーの獲得」（※2）ためのツールとして8400万人に利用されているLINEを活用していきます。コロナ禍により本年4月以降の新規ドナー登録者が減っており（※3）、若者の身近なツールであるLINEでの公式アカウント開設が新規登録につながることに期待します。

【骨髄バンクの現状】

（※1）コーディネート終了のデータ（2019年度）

患者と適合したドナーへのコーディネート開始件数24,223件
うち、送付時点で提供できないドナー14,767件（61%）



健康理由以外のドナー理由

第1位「都合つかず」（45%）

第2位「連絡とれず」（32%）

第3位「家族の同意なし」（9%）

（※2）ドナー登録者の年代別構成

- ・10代、20代 16.6%
- ・30代 26.3%
- ・40代、50代 57.1% ☞ドナー登録は55歳で取り消しになります。

（※3）2020年4月、5月の月間新規ドナー登録者数

4月の新規登録者数 873人（同月過去5年平均3,159人）

5月の新規登録者数 782人（同月過去5年平均3,067人）



【提供情報】

<リテンション関連>

■セグメント配信機能を活用した情報提供

- ・年代別
⇒ドナーと同年代の患者・ドナーのインタビューの紹介
- ・地域別
⇒ドナーが住む地域別に「ドナー休暇制度」(※4) 導入企業や「ドナー助成制度」(※5) 導入自治体情報を提供
⇒住所不明が多い地域に住所変更を促す

■Thank youメッセージ配信(節目の数字達成時点や記念日に)

- ・節目の数字達成に合わせて情報を提供
⇒「移植25000件」「ドナー登録55万人」「ドナー休暇制度700社突破」
- ・記念日に情報提供
⇒「世界骨髄バンクドナーデー(※6)」

■新型コロナウイルス感染症対策

- ・コロナ禍の中、ドナーが安心して提供いただくための情報を提供

■誕生月メッセージ配信

<ドナー未登録者>

■セグメント配信機能を活用した情報提供

- ・地域別
⇒「人口千人あたりのドナー登録者が少ない地域」「若年者のドナー登録比率が低い地域」
⇒住まいの地域で開催される登録会場(移動献血バス)、イベントの案内

<その他>

■「友達登録者へアンケートのお願い」「登録卒業ドナーへのお礼」「寄付のお願い」

(※4) 「ドナー休暇制度」

働いているドナーが提供しやすい環境づくりとして、全国の企業・団体等に向けて「ドナー休暇制度」の導入を推進しています。導入企業・団体は602企業・団体(2020年6月現在)。ホームページにドナー休暇制度の導入企業・団体一覧を公開しています。

(※5) 「ドナー助成制度」

自治体が骨髄バンクを通じて骨髄または末梢血幹細胞を提供したドナーを対象に助成する制度。全国で690自治体(2020年6月現在)が導入。ホームページに導入自治体一覧を公開しています。

(※6) 世界骨髄バンクドナーデー(World Marrow Donor Day)

世界中の造血幹細胞移植のドナーに感謝し、より多くの人に知ってもらおうと、2015年から9月第3土曜日が世界骨髄バンクドナーデーに定められました。この日は世界各地で様々なイベントが行われます。



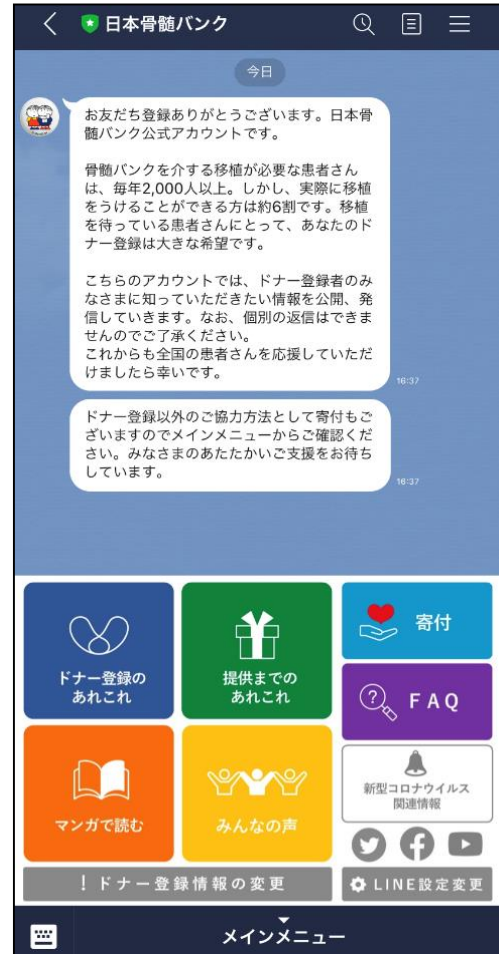
JMDP
日本骨髄バンク

プレスリリース

令和2年7月1日発信 日本骨髄バンク



「日本骨髄バンク」LINE公式アカウント
友だち追加用QRコード



「日本骨髄バンク」LINE公式アカウントイメージ

【本件に関するお問い合わせ先】

公益財団法人 日本骨髄バンク 広報渉外部

小島 kojima@jmdp.or.jp 田中(真) shin-tanaka@jmdp.or.jp

TEL 03-5280-8111(平日9時~17時30分) FAX 03-5280-0101